

SPUR

[シュプール]

8

AUGUST 2008

http://spur.shueisha.co.jp
特別定価670yen

SPUR温泉部推薦の
夏温泉に行こう

祝「SATC」映画版完成
NYでサラ・ジェシカに
会った

バーゼル&ジュネーブ
レポート
時計は
リクス&リアル
2本使いの時代へ

今が行き時、人気モデルの秘密のアドレス初公開

アギネス・ディーン
NY案内 Agyness Deyn

すぐ買える! 長く使える! ベーシックを探せ
人気ブランドの
「プレフォール」は使える!

さりげないのにやっぱり可愛い
NYのモデルが発信する新ミックス術

噂の M.O.D. スタイルを マスターせよ

MODELS

OFF

DUTY

とじ込み保存版/
スタイリング上手さん70人総出演

**世界6都市
真夏の街角スナップ**

モデルじゃなくても
こんなにおしゃれ!

別冊付録
ファッションとジュエリーの華やかな競演、欲しい「きらきら」が必ず見つかる

開け! モードな宝石箱

もう秋冬戦線は始まっている。

1. 「私たち秋、これを予約します」
2. 秋のトレンドはこのバイヤーに聞け

送別是順



KENZO '08-'09秋冬コレクションのコンセプトは、高田賢三氏の生まれ故郷「日本」。広告ビジュアルの撮影のために来日したデザイナーのアントニオ・マラスが、かねてより憧れの地であった京都を初訪問。ディープな和の美を求めた、買い物ツアーにSPURが密着取材!

「すべてがベリッシモ、ベリッシマ!」
「KENZO」デザイナーのプライベートトリップ

アントニオ・マラス、京都の「美」を買う

photographs: Midori Yamashita, Kunihiro Fukumori (shop)
coordination & text: Mako Yamato

感じ入る
妙蓮寺の石庭に

「今回訪れた場所は、どこも日本ならではの文化と伝統に満ちていて、しかもそれを再解釈してモダンに創り上げているところが素晴らしい。単に魅力的なだけでなく、その魅力のクォリティーが素晴らしいとでもいおうか。陶器、テキスタイル、地元の手芸品……一番を選ぶのはすごく難しいよ。また絶対に訪れたい街だ。そして僕のコレクションは、経験や記憶の積み重ねから生まれることが多い。頭の中にあるパズルのストックが、ある日突然、生かされることもあるので楽しみだよ」

「撮影は幸い天気もよく、スタッフの家族も大集合して和やかな雰囲気終えることができたんだ。梅林の枝振りも本当に素晴らしいね」

デザイナーとして本格的に来日するのは今回初めて。京都は日本文化の挿盤の地ゆえ、訪れるチャンスをやっとかかっていたとさう。許されたフリータイムはたった一日だったが、自身のカメラを肌身離さず、すべてに興味津々で笑顔の絶えないショッピングツアーとなった。





3 三軒主人・西郷耕太郎さんの開く
 1 マス氏に見とれるマラス氏。
 2 西郷さんが手にするのは、和傘と同じ
 構造で、上を閉じてしまわない
 ことで完成したランプシェード、
 京都産 ¥60,900 4 江戸時代から続く
 和傘製造。京都でもたった一軒だけ
 5 和傘の工程のひとつ、天日干しは
 向かいの宝鏡寺の境内で。実際に
 開いたり畳んだり、予想外の長居を
 するほどのマラス氏 6 蛇の目傘
 ¥29,400のほか、手頃な和紙日傘
 ¥6,300など、バリエーションも豊富

永仁2(1294)年に創建された、京都最初の
 法華宗寺院。こじんまりとした、静かな
 空間が魅力。「石庭が本当に素晴らしい。
 静謐な美しさが感じられて、世俗から離れ、
 世間の嫌なことがすべて忘れられるような
 空間。仏教にも興味があるので、これまで
 にもお寺を訪ねたことは何度かあるけれど、
 ご住職に直接話を聞くことができたのは初
 めて。庭の石や砂、そして水にまでどうい
 った意味があるか、知ることができた体験
 は魅力的だった」

1 日蓮大菩薩の第七百遺忌に奉納された、
 幸野豊一作の奥書院の構図。鹿が遊ぶ
 「春の野」の前で 2 塔頭住職から石庭や
 寺院についての説明を受けるマラス氏。
 「この石庭はどれくらい前に
 作られたもの?」「オリジナルの石?」
 「どんな石を選ぶか、どう庭を作るかに
 ルールはある?」などの質問が次々と

妙蓮寺 ●京都市上京区寺之内通大宮
 東入ル ☎075(451)3527
 休10時~16時 @水曜 拝観料 ¥500
 アクセス:JR京都駅から
 市バス9系統堀川寺之内下車徒歩3分

伝統の番傘に惚れ込む



江戸時代創業、京和傘を今に受け継ぐ老舗へ。京和傘とは、全国から選り
 すぐった素材を使い、京漆や真田組などで仕上げた、上質で確かな技術で作
 られた傘のこと。とりわけマラス氏の目を引いたのは野点用の5尺もある大
 きなものや、和傘の技をそのまま生かしたランプシェード。「日本のものを
 現代的な視点からアレンジしているのが素晴らしい」。常に進化を遂げてき
 た和傘の伝統にない、これからも新作が次々登場するのも楽しみ。

日吉屋 ●京都市上京区寺之内通堀川東入ル百々町 546 ☎075(441)6644
 休10時~17時 毎月曜 <http://www.wagasa.com/>
 アクセス:JR京都駅から市バス9系統堀川寺之内下車徒歩3分

